

(別紙4(2))

事業所名 : グループホームたかまーみの家

作成日 : 令和 2 年 1 月 15 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	○運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議への地域代表者の参加に向けた工夫と会議記録に各委員との意見交換等、協議内容の追記が望まれるとともに、議事録の公表をする。	・自治体のイベント行事等や自施設での行事に参加依頼し、活動内容に興味を持っていただき、参加を依頼していく。	適時
2	6	○身体拘束をしないケアの実践	身体拘束問題対策委員会(身体拘束等の適正化を検討する委員会)には、第三者の委員の参加が望まれるとともに、委員会での検討記録の整備、及び職員への周知徹底を目標とする。	・身体拘束をしないケアや身体拘束の適正化について、職員の勉強会や研修を年3回開催することを目標にし身体拘束について統一理解できるようにする。	12か月
3	47	○服薬支援	服薬支援マニュアルを作成する。	・安心、安全な服薬支援自体はしっかりとした管理体制のもと周知徹底されているが、その具体的な方法を書式化し、作成する。	6か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目の番号を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。